

◆教員の養成に係る教育の質の向上に係る取り組み

教員養成に係る教育の質の向上に係る取り組みに関して、保育科では、学術の専門の講師陣に加え、現場の知識・技術に精通している現場経験者を講師陣に揃えて、実習指導をはじめ、就職現場でも対応できる実践力を培う講義を行っている。また、定められた学外実習の前に、短期大学部附属幼稚園において実習を行い、保育の実践力を身につけるための観察及び実践経験を積んでいる。

教育実習の指導においては、「教育実習概論」「教育実習Ⅰ」「教育実習Ⅱ」等の授業を立ち上げ、実習指導用のテキストを作成して、年間を通しきめ細かな実習指導を行っている。さらに、子どもへの対応だけでなく、育児相談等の保護者の対応も考慮した講師及び講義を揃えている。

短期大学部においては、学生による授業アンケートを実施し、教員表彰制度を立ち上げ、授業アンケートで高い評価を得た教員を表彰している。また、短期大学部の教員は相互に授業を参観し、提出された授業参観報告書を下に、反省及び今後の課題等を記した報告書を提出して、教育の質の向上に努めている。さらに、内外の講師を招き、授業及び教育の質の向上のための講演会を毎年開催している。

本学においては、建学の精神を踏まえ、必修科目として一年生の前期に宗教学、後期に仏教保育を開講している。併せて釈尊降誕会、新入生参禅会、精霊祭、御征忌、成道会、涅槃会などの学内宗教行事への参加を通して、建学の精神を学んでいる。

なお、宗教行事の参加や短期大学部附属幼稚園での実習においては、感想やレポート、観察記録及び考察・反省などの提出を求め、質的データとして学習成果の測定を行っている。